

源氏は、清和天皇より當代格○光まで、平氏は、桓武天皇より東大夫胤頼までの系圖をのせたり、
編者つまびらかならず、

藤原系圖 一卷

藤原氏代々の系圖なり、嵯峨の吉田素庵の作といへり、

武家系圖 二卷

卷首に、本朝武家大系圖と題せり、

上卷 國常立尊より神武天皇に至る 清和源氏系圖

源家 斯波 澁川 石堂 一色 加子 石橋等の系圖

源家 新田系圖 源家小笠原 南部系圖 其餘源家系圖等

平家 清盛系圖 其餘平家系圖等

下卷 藤原氏系圖 橘氏系圖 小野氏 在原氏 清原氏 紀氏 大中臣氏 ウラベ 菅

原氏 大江氏 安倍氏 アベ 和氣氏 ワケ 中原氏 小槻氏 ツキ 丹波氏 賀茂氏等の系圖

本朝武家評林大系圖 五卷

卷之一 清和源氏 卷之二 平家 卷之三 宇多源氏

卷之四 藤原氏 卷之五 源家足利將軍系圖

此書は武家評林に附刻せり

〔平治物語三〕牛若奥州下事

牛若義經源ハ、鞍馬寺ノ東光坊阿闍梨蓮忍ガ弟子、禪林坊阿闍梨覺日ガ弟子ニ成テ、遮那王トゾ申

ケル、十一ノ年トカヤ、母ノ申事ヲ思出シテ、諸家ノ系圖ヲ見ケルニ、ゲニモ清和天皇ヨリ十代ノ

御苗裔、六孫王ヨリ八代、多田滿仲ガ末葉、伊豫入道頼義ガ子、八幡太郎義家ガ孫、六條判官爲義ガ